



サプライヤー責任

2018年進捗報告書

人々
地球
進捗

5
26
39

人と地球に対する取り組み。

従業員の尊厳を重んじ、敬意を持って彼らを扱うこと。キャリアアップの機会を提供すること。地球の資源を保護すること。これらはApple製品を作る上での基盤です。だから私たちは、Appleのサプライチェーンで働く人々と地球のためになると同時に、サプライヤーの成長も促すプログラムをサプライチェーン全体で展開しています。

私たちはサプライヤーと協力し、教育とキャリアアップの機会をもたらすグローバルなプログラムをサプライヤーの従業員に提供しています。現在までに、こうしたパートナーシップは、職場の外での機会を活用できるように数百万人の人々を支援してきました。一人ひとりの従業員の生活の中心にあるのは、彼らの権利が日々尊重される安全かつ健康的な職場です。従業員の健康的な生活に良い影響をもたらせるように、私たちはサプライチェーン内で責任ある行動を実践するための取り組みを続けています。

環境面での責任を担うサプライチェーンは、「出会った時よりも良い世界を未来に渡す」というAppleの使命において大きな役割を果たしています。私たちはサプライヤーとともに、気候変動に立ち向かい、水の使用量を削減し、環境に配慮した薬品を製造業務に導入し、廃棄物をなくすための対策を続けています。

Appleのサプライヤー行動規範では、人権、環境保護、健全なビジネス慣行への取り組みの重要性を強調しています。私たちは毎年、サプライヤーがAppleの高い基準を遵守していることを確認するための査定を実施していますが、その回数は毎年増加しており、パフォーマンスの高いサプライヤーの数も増え続けています。これらはすべて、サプライヤーとAppleとの間に強いパートナーシップがあるからこそできることです。

私たちの業務の中核にあるのは、人、地球、そしてサプライヤーの成長のための取り組みです。私たちはこれからも、前向きな影響を生み出し、持続的な変化を促すための取り組みを広げる方法を探し続けます。

私たちは、Appleのサプライチェーンに関わる人々の生活を向上させるための方法を常に探し求めています。2017年、私たちはサプライヤーとともに次のことを達成しました。

- 300万人以上のサプライヤーの従業員に対し、権利についてのトレーニングを行いました。このトレーニングの内容には、各地域の労働法やAppleのサプライヤー行動規範も含まれています。
- 女性の従業員を対象に健康意識を高めるための健康プログラムを立ち上げました。このプログラムは、2020年までに100万人の女性にトレーニングを行うことを目指しています。
- Enough Projectにより、紛争鉱物の責任ある調達において世界でトップの企業にランク付けされました。
- 約1億9,000万円の過剰な斡旋手数料が、強制労働の被害を受けた1,558人の従業員に払い戻されました。2008年以降、合計で30億円以上が3万5,000人以上の従業員に払い戻されています。

私たちは、最高の製品は地球に対する敬意をもって作られると信じています。2017年、私たちはサプライヤーとともに次のことを達成しました。

- Institute of Public and Environmental Affairsにより、Corporate Information Transparency Indexで1位にランク付けされました。
- 「Zero Waste to Landfill」(埋立廃棄物ゼロ)の取り組みをインドに拡大し、iPhoneの最終組み立て施設の100パーセントがULの認定条件を満たしました。
- すべての最終組み立て施設で、GreenScreen®ベンチマーク1と2の洗剤を、環境に配慮した代替品に置き換えました。
- 平均37パーセントの排水再利用率と、1,930万キロリットルの真水の節約を達成しました。

私たちは新しいサプライヤー各社と協力し、Appleの厳しい基準を遵守できるようにサポートしています。さらに既存のサプライヤーとも協力し、安全で健康的な職場作りの確実な進捗を支援しています。2017年、私たちは次のことを達成しました。

- 30か国で756件の査定を実施しました。これは、Appleのすべての支出先の95パーセントに相当します。さらに、このうち26パーセントは初回査定でした。
- パフォーマンスの高いサプライヤーの数が35パーセント増加し、ローパフォーマーの数は71パーセント減少しました。

2017年の結果のハイライト

人々

300万

人以上のサプライヤーの従業員が、世界各地で自らの権利を知るためのトレーニングを受けました

約1.9億円

の斡旋手数料が2017年にサプライヤー従業員に払い戻されました

1.2万

人以上が2008年以降に高等教育の学位課程に登録しました

4,000

人以上が予防衛生および女性の健康に関するトレーニングを受けました

地球

62.5万

トンの廃棄物が2015年以降に埋め立て処理をせずに転用されています。これは、2,545面のサッカー場を1メートルの厚さで覆うのに十分な量です

100%

世界中のすべてのiPhoneの最終組み立て施設で、廃棄物の100パーセントを埋め立て処理をせずに転用しました

32万

トン(年換算)の炭素排出量を2017年に削減しました。これは、香港の道路からすべての車を62日間取り除くのと同等の量にあたります

1,930万

キロリットルの水を2017年に節約しました。これは、オリンピックサイズの水泳プール7,722個以上を満たすのに十分な量です

進捗

756

のサプライヤー施設の査定を2017年に実施しました

30

の国で査定を実施しました

35%

パフォーマンスの高いサプライヤーの数が前年より35パーセント増加しました

人々



Apple Storeの什器を作る職人
米国



iPhoneの製造ラインマネージャー
インド

私たちのサプライチェーンの 結びつきにとって、最も大切な 要素は人です。

Appleのサプライチェーンの中心にいるのは、私たちの製品を作っている人たちです。Appleはサプライチェーンで働く人たちが教育を受ける機会や、キャリアアップのための機会を得られるように力を注いでいます。また、こうした人たちの権利が尊重され、彼らが尊厳を持って扱われる、安全で健康な職場が確実に提供されるように働きかけています。

健康教育を通して、女性を支援しています。

私たちの健康啓発
プログラムの目標：



2020年までに世界中にあるAppleの
サプライヤーで働く**100万人の女性た**
ちにプログラムを提供し、彼らのコミュ
ニティのつながりを通して健康への意
識を広める

Appleは、サプライヤーの従業員が自らの健康や健康的な生活を自らで管理するための知識や機会を得られるように注力しています。

2017年、健康教育を通して女性を支援する取り組みが、中国とインドにあるAppleのサプライヤー施設の一部で始まりました。私たちの目標は、工場で働く女性たちが女性特有のリスクをしっかりと認識し、自らの健康や健康的な生活を自らで管理できるようにすることです。またこのプログラムは、健康についての新しい知識を同僚、友人、コミュニティと共有することで、彼女たちがリーダーの役割を担えるようにもします。

私たちのカリキュラムは、がんの早期発見のための自己検診、栄養、身体のケア、妊産婦の健康といった、女性の健康維持に欠かせない情報を提供し、各種サービスも利用できるようにします。プログラムの目標を達成するためには、Appleの各チーム、工場の経営者、Department of Community Healthといった主要な医療機関、ベンガルールのSt. John's National Academy of Health Sciences、福祉職員、トレーナー、そして女性たち自身による、広範囲にわたる協力が欠かせません。トレーニングはすべて参加者の地域の言語で、工場の従業員のニーズに合わせて実施されます。

健康に関する知識を高める



がんの早期発見



栄養



身体のケア



女性の健康

このプログラムは、仲間同士のコミュニケーションを活用し、自然に発展していくように設計されています。それぞれのサプライヤー施設での同僚である教育担当者は、毎月特定の健康問題についてトレーニングを受けます。このような従業員はソフトスキルとリーダーシップに関するトレーニングを通して、自信を培います。そして彼らは新しいトピックを学び続けながら、プログラムの参加者に自分の知識を共有するセッションを開催します。

中国で実施している私たちのプログラムでは、その効果を測るため、北京大学(PKU)と協力して独立した厳格な評価プロセスを開発しています。これにより、私たちは女性ができるリソースや、彼女たちの現在の健康意識のレベルをより深く理解できるようになるでしょう。このデータがあれば、将来に向けて従業員のニーズに最も的確に対応するプログラムを継続的に形作ることができます。

健康について知ることは、心地よいこと。

「予防治療と女性の健康について授業で学んだことは、母と共有するようにしています。そのおかげで、母は私が授業に参加する以前に受けなくなっていた、毎年の健康診断を受けるために医者へ行ってくれました」

Miao Minghui氏
女性の健康プログラムの参加者

女性の健康プログラムの参加者たち
中国



今日従業員にトレーニングを提供すると、明日のリーダーが生まれます。

私たちは、Appleのサプライヤーの従業員がスキルを高められるように支援しています。現在サプライヤーでは、技術的スキルとソフトスキルをバランス良く併せ持つ、工場ラインリーダーにふさわしい人材へのニーズが高まっています。製造における労働力の一翼であると同時に、従業員と管理部門をつなぐ架け橋にもなる工場ラインリーダーは、特別な役割を担います。

中国におけるAppleのサプライヤー従業員の約半分が働く主要施設で実施した総合的な調査では、ほとんどのサプライヤーが、繁忙期に適格なラインリーダーを採用する上で困難に直面していることがわかりました。そこで2017年、私たちはAppleの工場ラインリーダープログラムを立ち上げました。このプログラムでは職業トレーニングの受講者が、有能なラインリーダーに必要な技術的スキルとソフトスキルを身につけることができます。

工場ラインリーダープログラム



技術的スキルとソフト
スキルのトレーニング



Appleサプライヤーでの
インターンシップを保証



修了後にフルタイムの
雇用機会

プログラムの第一段階では、4社のサプライヤーと8つの学校が参加しました。そのカリキュラムチームは、中国の職業教育訓練(VET)をリードする専門家である、北京師範大学のZhao Zhiqun博士が率いています。工場チームは、人事とトレーニングの専門家、技術チーム、アドバイザーの役割を担うパフォーマンスの高いラインリーダーたちによって構成されています。

工場ラインリーダープログラムを修了した受講者には、Appleのサプライヤーでのインターンシップとフルタイムの雇用機会が保証されています。

生徒が成果を出せるように打ち込む教師。

Chen Changwei氏が教えているビジネスのクラスは、江蘇省崑山市の学校で行われているAppleの工場ラインリーダープログラムの一部です。このプログラムの教師としての経験をChangwei氏が語ってくれました。

「Appleには、学校と企業の橋渡しをしながら、双方がメリットを得られる機会を作ることができます」

Chen Changwei氏
工場ラインリーダープログラムの
インストラクター
中国

Appleの工場ラインリーダープログラムは、これまでご覧になってきた中国のほかの教育プログラムとはどう違いますか？

私はこれまで、大企業によるプロジェクトを何度も率いて、ほかの学校で行われている同様のプロジェクトをたくさん見てきました。このプログラムは次の4つの点でほかのプロジェクトとは大きく異なっています。1) 革新的であること。技能を持つ従業員を育成するこのようなプログラムが、大企業のサプライヤー責任部署の主導で実施されたのは初めてのことです。2) 扱う範囲が幅広く、複数のパートナーが参加していること。3) 第三者によるモニタリングシステムが設けられていること。このプログラムでは、トップクラスの大学が査定し、その有効性を検証します。4) 多様性のあるプログラムであること。受講者たちはそれぞれ異なるバックグラウンドを持ち、様々な私立校や公立校から参加しています。

なぜ職業教育の機会を提供することが重要だと考えているのですか？

一般的な大学が高度でアカデミックな人材を育成する一方で、工場ラインリーダープログラムのような職業教育の施策は、より技術にもとづいた人材育成を行えると考えています。中国で必要とされているのは、こうした人材育成です。

工場ラインリーダープログラムの
インストラクター
中国



より洗練された教育コンテンツを使って 学べるように。

過去10年間の実績：



250万人以上のサプライヤー従業員
がSEEDプログラムに参加



1万2,000人以上が高等教育の
学位課程に登録

2008年、私たちは中国にあるAppleのすべてのサプライヤー施設に、従業員が業務の前後に教育コンテンツにアクセスできる教室を設置しました。これはSupplier Employee Education and Development (SEED) プログラムと呼ばれ、言語学習、ソフトウェアアニメーション、スモールビジネスの立ち上げに関するトレーニングなどのトピックを学ぶ機会を従業員に提供します。また、私たちはサプライヤーと協力し、准学士号または学士号の取得に向けた学習を希望する従業員に奨学金を提供しています。現在までに、250万人以上の従業員がSEEDに参加し、1万2,000人以上が学位課程に登録しています。

2017年、私たちは受講者が持つ特定の能力開発の目標に対応する、需要の高いコンテンツを開発することにフォーカスしました。また、学士号取得のための学習には関心がないものの、職業に関するスキルをより一層向上させたいと希望する従業員のために、職業認定プログラムも導入しました。SEEDの職業認定を通して製造に関するスキルを身につけることで、サプライヤーの従業員はさらに多くのキャリアアップの機会を得ることができます。

iPadの製造ラインオペレーター
中国



環境、健康、安全に関する教育を通して、 従業員を支援しています。

2013年、私たちはサプライヤー施設において、職場の健康、安全、環境の問題に積極的に取り組むためのスキルにギャップがあることに気づきました。そこで私たちは、南京大学のEHS Centerと協力し、国際的なベストプラクティスと地域のポリシーを統合した集中的なカリキュラムを提供する、Environmental Health and Safety (EHS) Academyを作りました。

現在までのEHS Academy参加者の
実績：

~3,400

のプロジェクトを274のサプライヤー施設で実施

EHS Academyのトレーニングでは、現地マネージャーが、環境保護、大気汚染、水管理、化学物質管理、緊急事態対応、安全装置について学びます。マネージャーたちは与えられた課題に加えて、各自が勤務する施設の環境、健康、安全状況を改善するためのプロジェクトを作成し、実行しなければなりません。EHS Academyは職場環境を改善する詳細な専門知識を提供し、サプライチェーンの従業員がキャリアアップする機会を広げます。サプライチェーンで働く人たちがさらに高度な環境、健康、安全に関するスキルを身につければ、昇進のチャンスを見つけることもできます。



iPhoneの製造ラインオペレーター
中国

従業員を支援し、守る職場を。

Appleは人権の擁護に関して、自らとサプライヤーに最高の水準を求めます。Appleのサプライチェーンで働く人々の尊厳を重んじ、敬意を持って彼らを扱うための私たちの取り組みは、揺らぐことはありません。私たちは今後も、法令で定められた基準を超えて、Appleのサプライチェーンで働く人々にとって正しいことを行っています。

従業員へのトレーニングは、初日から始まります。

2008年、私たちはAppleのサプライヤー従業員向けトレーニングプログラムを開発しました。これは、サプライチェーンで働くすべての人が、新入社員オリエンテーションの期間中に、従業員としての自らの権利に関するトレーニングを確実に受けられるようにするためのプログラムです。トレーニングでは、地域の労働法の要件に加えて、許容される労働時間、適切な労働環境と生活環境、基本的な健康と安全に関する情報など、Appleのサプライヤー行動規範に記載されている権利の保護についても扱っています。また、サプライヤーには、従業員が違反を安全に報告できる、苦情報告のルートを設けるように義務付けています。

サプライヤー従業員向けトレーニングプログラム



地域の雇用法についてのトレーニング



Appleサプライヤー行動規範についてのトレーニング



苦情報告システムについての通知

従業員が発言できるように。

従業員による発言や連絡を促すための面談や苦情報告のルートを設けることは、Appleのサプライヤー行動規範を遵守する上で欠かせません。面談の終了時には、倫理に反すると思われる行為などについて、さらなるフィードバックを内密にAppleに提供できるよう、従業員に電話番号を手渡ししています。

従業員には、報復行為があった場合、Appleにそれを報告するように推奨しています。サプライヤーがそれぞれの状況を必要に応じて適切かつ確実に改善するように、私たちはすべての苦情を調査しています。

300万

人以上が2017年に職場での権利の擁護に関するトレーニングに参加

1,470万

人が2007年以降に職場での権利の擁護に関するトレーニングに参加

3.1万

人以上のサプライヤー従業員に対する面談を2017年に実施

あるサプライヤー従業員が、 従業員の声に新しい力を与えました。

Xu Yuexia氏は、2013年に中国の江蘇省にあるAppleの最終組み立て施設、CSMCにオペレーターとして入社しました。業務初日に、Xu氏は地域の雇用法とAppleのサプライヤー行動規範に関するトレーニングを受けました。

それから数年の間に、Xu氏は管理部門の研修生から様々な役割を担う従業員へ、そしてスーパーバイザーへとキャリアアップを遂げます。自らのキャリアを伸ばす一方で、4万人を超えるCSMCの従業員の権利擁護に注力する、従業員チームの構築にも尽力しています。さらに2015年、Xu氏はモラルサポートチームのメンバーになりました。このチームは、従業員のためのサポートネットワークとして機能し、彼らが懸念事項について発言できる場所を提供します。ここで挙げられた懸念事項は、のちに管理部門に提出されます。また、モラルサポートチームはコミュニティサービスのプロジェクトやチーム構築のためのアクティビティを用意し、企業文化を促進する役割も担っています。

Xu氏はモラルサポートチームの活動に熱心に取り組んでおり、チームの影響力を大幅に高めるために貢献してきました。2017年には、50を超える従業員フォーラムを企画しました。こうしたフォーラムの結果、100件以上の懸念事項が管理部門に提出され、職場環境の改善に反映されました。また、Xu氏とチームはAppleと直接連携し、査定訪問や面談の際に、不満を持つ従業員を特定できるように協力し合っています。Xu氏は、自らの役割は常に進化していると感じており、新しいことを学ぶチャレンジを楽しんでいます。彼女はモラルサポートチームの成果と、同僚たちの毎日をより良いものにできるチームの能力をとても誇りに思っています。

職場についてのトレーニングが、職場における権利の擁護につながります。



2013年：地域の雇用法とAppleの
サプライヤー行動規範に関する、
新入社員向けトレーニング



2015年：モラルサポート
チームを結成



2017年：4万人以上の
従業員をサポートし、
その権利を擁護

強制労働を撲滅するために、 さらに力を注いでいきます。



2008年：Appleサプライヤー行動規範により、あらゆる形態の強制労働が禁止に

2015年：サプライヤーが操業する国の法定限度額内であっても、斡旋手数料が発覚した場合は一切容認しないポリシーを制定した、業界初の企業に



「容認ゼロ」ポリシーにより従業員の声の抑圧を禁止

強制労働は、借金やその他の債務、時には仕事を得るために事前に徴収された手数料の返済と引き換えに、労働を強いられた場合に発生します。2008年、私たちはこうした強制労働をAppleのサプライヤー行動規範に対する重大な違反とみなし、許容される手数料を1か月分の賃金までに制限しました。

2015年には、この問題に一段と深く踏み込み、先駆けとなる方策を導入しました。採用機会のための手数をサプライヤーの従業員に請求することを、その手数料がサプライヤーが操業する国の法定限度額内であっても一切禁止するように義務付けたのです。強制労働が発覚した場合、サプライヤーは斡旋手数料の全額を、被害を受けたすべての従業員に払い戻す必要があります。

Appleは従業員とサプライヤーが安心して懸念事項を伝え合えるルートを確保しており、この悪習を撲滅するための取り組みにおいて、あらゆる業界でリーダーとして認められ続けています。

2008年以降：

30億円

以上が負債による強制労働の違反が発覚したサプライヤーから払い戻されました

3.5万

人以上の違反サプライヤーの従業員が払い戻しを受けました

2017年：

約1.9億円

(総額)が強制労働の違反の結果として払い戻されました

1,558

人が払い戻しを受けました

負債による強制労働が発覚した場合、ただちに以下の措置をとります。



①

指導監督通知

違反したサプライヤーに対して、返金条件と従業員を保護するための報復禁止条項と一緒に、指導監督通知を送付します。



②

払い戻しの期日

指導監督通知は、30日以内に従業員への払い戻しを行うようにサプライヤーに要求し、それができない場合はAppleとの取引が打ち切られる可能性があることを伝えます。



③

払い戻しの承認

被害を受けた各従業員への払い戻しのチェックと承認を、Appleが行います。



④

払い戻しの確認

独立した監査担当者が、各従業員が払い戻しを受けたことを確認します。

私たちは、自らのサプライチェーンから強制労働を追放するための着実な進歩を遂げています。2017年には、前年比の年次査定とサプライヤーの能力開発を組み合わせることで、違反再発率がゼロになりました。さらに2013年以降、負債による強制労働の合計件数は確実に減少しています。

未成年者の就労は容認できません。

Appleはサプライヤー行動規範において、未成年者の就労を厳しく禁止しています。こうした就労を一切容認しないポリシーに加え、サプライヤーと協力してトレーニング、コミュニケーション、偽の身分証明書の検出方法を絶えず改善しながら、サプライチェーン全体から未成年者の就労を根絶するために取り組んでいます。

私たちが未成年者の就労を特定する方法



①

工場の点検

未成年者就労の検査は、工場の点検の際に行います。



②

従業員との面談

正式な文書と比較し、従業員の母国語で面談を行います。この際、サプライヤーの管理者は同席しません。



③

プロセスのチェック

施設の採用プロセスと、応募者の審査プロセスを確認します。



④

より詳細な査定

査定担当者は、サプライヤーによる虚偽の情報の提示や、書類閲覧の妨害を発見できるように訓練されています。いずれの場合もサプライヤー行動規範の重大な違反となります。

2017年、私たちは756の施設と約130万人の従業員に対して査定を行い、2件の未成年者就労を発見しました。2人の未成年従業員はそれぞれ14歳と15歳で、どちらのケースでも、職を得るために偽の身分証明書を使用していました。発覚後、2人はただちに自宅に返され、サプライヤーから給料を受け取り続けながら、自分たちが選んだ学校に入学しました。彼らが法で定められた最低就労年齢に達し、復職を希望した場合は、元のサプライヤー施設で雇用の機会が与えられます。

未成年者の就労を明らかにするだけでは十分ではありません。こうした事例が発覚した場合、サプライヤーは次の義務を負います。



従業員が安全に帰宅するための資金を提供する



従業員の教育費用を負担する



従業員が工場で得る予定だった資金の全額を支払い続ける



法で定められた最低就労年齢に達した時には復職の機会を保証する

より多様性がある職場を作るための基準。

Appleのサプライヤー行動規範では、安全で、お互いに対する敬意がある職場環境が求められます。私たちはサプライヤーと連携し、Appleが求める差別のない慣行の基準遵守を確認していますが、こうした基準をはるかに上回る公正な職場を提供しているサプライヤーもいます。中国の南京にあるサプライヤーのCompalは、すべての従業員のための多様性がある環境の構築を目指しています。

Compalでは、すべての従業員に強い帰属意識を持ってもらい、より多様性が感じられる環境を作るため、同じ信仰や宗教を実践する人たちと寮で生活する選択肢を従業員に与えるなどの施策を導入しています。さらに同社では、従業員の宗教的な習慣や伝統に従って特別に用意された食事を選べます。

iPadの製造ラインオペレーター
中国



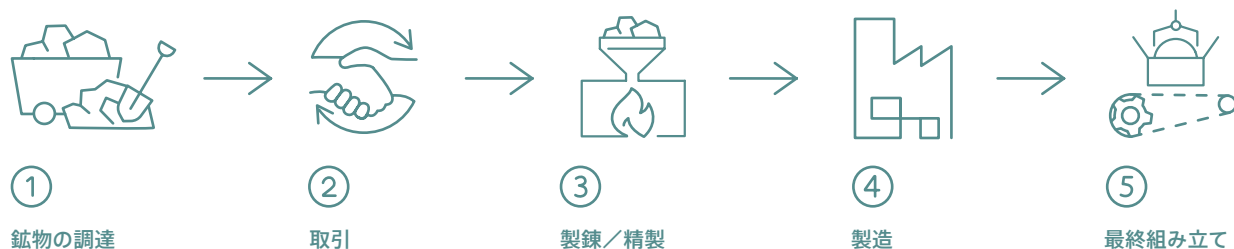


Environmental Health
and Safetyマネージャー
インド

私たちのサプライチェーンの 一番深い部分でも、人権を 尊重します。

Appleは、製品原材料の責任ある調達に継続的に取り組んでいます。私たちは自社製品に使用される原材料のうち、規制対象のものと規制対象でないものの両方をサプライチェーン内の最も遠い部分に至るまで明らかにし、マッピングしています。製錬所と精製所に対して最も厳格な基準を確立することで業界をリードしていることを、私たちは誇りに思います。

採掘から工場のラインまで

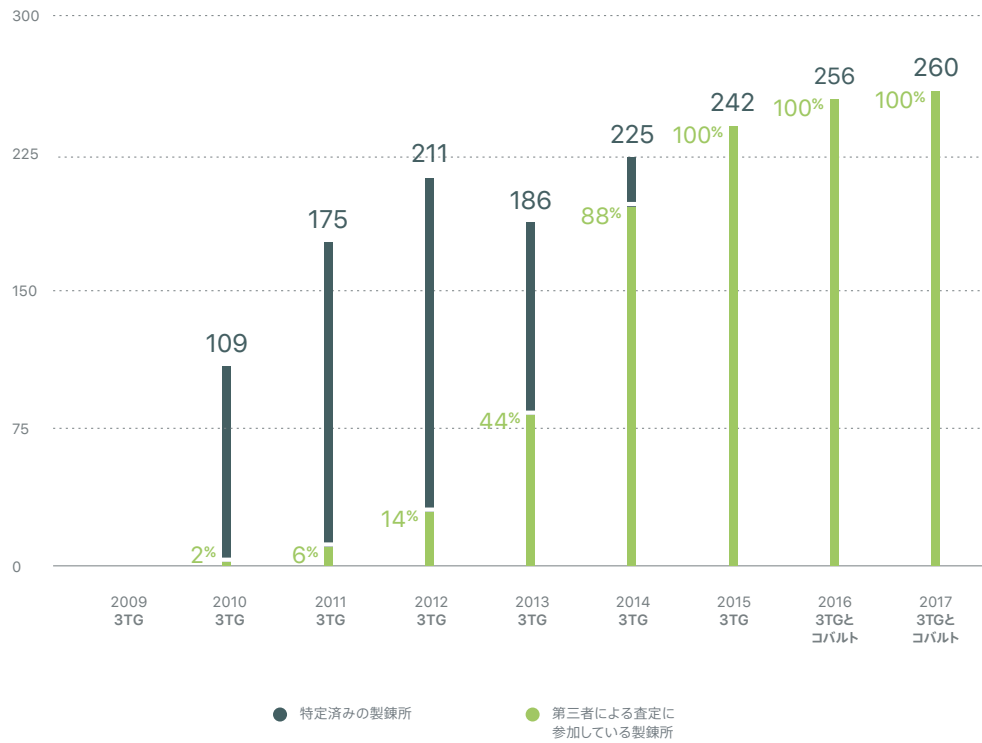


原材料の精査で、先駆けになっています。

Appleは2010年に、スズ、タンタル、タングステン、金(3TG)について、製造から製錬所のレベルに至るまでのサプライチェーンを初めて明らかにした企業になりました。2014年にはコバルトのサプライチェーンマッピングを開始し、2016年に完了しました。このマッピングは、自社業務におけるリスクを特定し、それに対応するAppleのサプライヤーの取り組みにもとづき、私たちの製品に使われる鉱物が責任ある方法で調達されていることを確認するために行っているものです。私たちのプログラムは、経済協力開発機構(OECD)の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」や、そのほかの国際的に認められた人権に関する法的文書の内容に沿って作られています。

2017年には、Appleのサプライチェーン内で確認されている3TGとコバルトの製錬所の100パーセントが、2年連続で独立した第三者による査定に参加しました。Appleの取り組みでは、紛争だけでなく、人権やその他のリスクまでを考慮しています。そして私たちは、法律で求められる基準をはるかに超えて、製錬所が自社の事業におけるリスクを報告、評価、軽減できるようにサポートしています。サプライヤーを直接訪れるスポット監査では、報告されたデータの正確性を確認し、差異が認められる場合は確実に是正措置が取られるようにします。さらにAppleは、新規および既存のサプライヤーに英語と北京語でオンライントレーニングを提供しているほか、管理システム内で重大な不一致が見つかった場合は、そのサプライヤーに合わせたサポートを提供します。またAppleは、製錬所のリストを公表した初の企業でもあります。

第三者による査定への参加率
3TGとコバルト



私たちは、自らの製品に使われる鉱物の責任ある調達で、世界的なリーダーとして認められていることを誇りに思います。



ランキング1位
Enough Project

「Appleが業界のトップリーダーであることが、Enough Projectの2017年の紛争鉱物ランキングで証明されました。サプライチェーンのリスクの評価と軽減、複数の利害関係者を持つワーキンググループへの積極的な参加、コンゴの鉱山コミュニティで実施されたプログラムの支援といった先進的な取り組みが評価されたからです」

John Prendergast氏
Enough Project 創設ディレクター

他社があとに続けるように、 私たちの取り組みを共有しています。

2016年、私たちはRisk Readiness Assessment (RRA)と呼ばれる査定ツールを開発しました。これは、サプライヤー候補の企業と既存のサプライヤーが自社のリスクレベルを理解し、業務における主要なリスクを追跡するためのものです。Appleのサプライチェーン内の3TGの製錬所と精製所のうち、RRAを完了した企業には、ほかの企業と比較したリスク対策評価の概要を提供します。こうした結果を確認することで、製錬所と精製所は自己修正ができ、業界全体のパフォーマンス向上のために協力し合うことができます。

RRAのほかの業界への
拡大

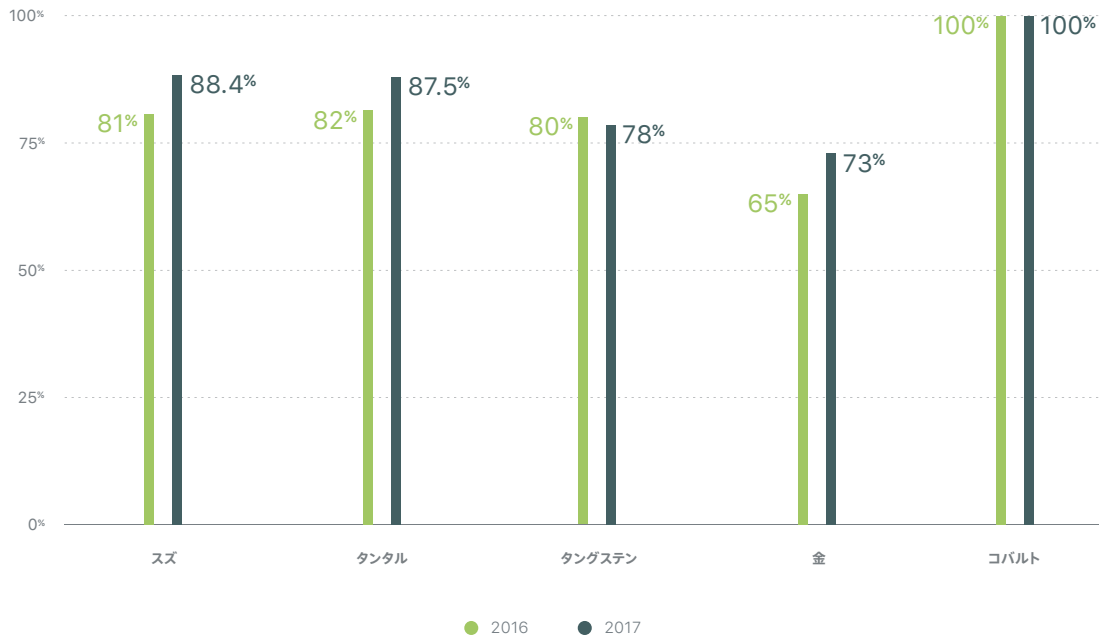


211の企業が2017年に
RRAツールを活用

多くの業界にわたり共同してアクションがとれるように、RRAはResponsible Business Alliance (RBA) (Electronic Industry Citizenship Coalition, 略称EICCから改称)を通じて、オープンソースとして公開されています。RRAのオンラインプラットフォームは、参加している製錬所の情報の集中型データベースを提供するほか、全世界のデータを比較することができ、アクセスが容易で、どの業界でも使える拡張性を持っています。

2017年には、151の製錬および精製会社がRRAプラットフォームを活用しました。加えて同じ年には、エレクトロニクス、電子機器製造、自動車、航空、小売、消費財といった各業界のサプライチェーンのプロフェッショナルを代表し、60の企業 (RBAとResponsible Minerals Initiative, 略称RMIのメンバー)がRRAオンラインプラットフォームを活用しています。

RRAを活用している3TGとコバルトの製錬所と精製所



第三者による査定とリスク評価に加えて、採掘施設の紛争リスクを監査および監視する業界スキームに発生し得る問題を特定する人々を支援し、特定のための手段を提供することも重要です。International Tin Association (ITRI) のTin Supply Chain Initiative (iTSCi) プログラムは、高リスク地域から原材料を責任ある方法で調達する企業を支援し、コンゴ民主共和国におけるiTSCiのトレーサビリティプログラムに参加している採掘施設を監視します。

2017年、私たちはiTSCiが導入した告発プログラムを5つの新しいリスクカテゴリーに拡大する支援を行い、サプライチェーンの不適切な行為や事故を明らかにし、対処できるようにしました。このプログラムを利用すると、誰でも匿名で電話をかけて、採掘施設における未成年者の就労、鉱物の密輸、保護地域での不法採掘などの疑惑を報告できます。これからも私たちは、既存のシステムを改善し、サプライチェーンの上流部分における人権保護の強化を促進するための取り組みを続けていきます。

現地で良い効果をもたらしています。

私たちは、行動規範の推進だけでは十分ではないと考えています。持続的な効果を生み出すためには、現地の組織とともに深く踏み込む必要があります。私たちは、特に自社製品に使われる鉱物が採掘される可能性がある地域では、立場が弱いコミュニティをサポートし、個人に発言の機会を与えることが重要だと信じています。また、人々が採掘以外の生活手段を見つけて貧困の連鎖を断ち切ることができるように、職業教育を提供する取り組みへの支援も行っています。

私たちの長期的な目標は採掘への依存を終わらせることですが、現在、世界中で数百万もの人々が採掘によって生計を立てていることも認識しています。2016年、私たちはカリフォルニア大学バークレー校のCenter for Effective Global Action (CEGA) において、Faber, Krause and Sanchez de la Sierra (2017) による調査の資金調達に協力しました。この調査により、コンゴ民主共和国 (DRC) 旧カタンガ州のコバルト鉱山労働者の約90パーセントが小規模な鉱山で働いていることがわかっています。こうしたコミュニティでは、60パーセントの世帯が採掘に頼って生活しているか、過去にそうした生活を送っています。鉱山で働く人々のコミュニティは、特に人権侵害の被害を受けやすい傾向にあります。

2016年、PactとAppleの取り組みが始まりました。Pactは、DRCの鉱山で働く人々のコミュニティが、鉱山労働者、そのコミュニティと子どもたちを組織化し、保護できるように支援する非営利団体です。2017年、PactはAppleに代わって、採掘のリスクを説明し、そうしたリスクにDRCのコミュニティの注意を向けさせるための大規模な意識向上キャンペーンを開始しました。このキャンペーンでは、近隣の委員会や地元のリーダーたちが子どもたちや家族と協力し、児童による採掘に伴う身体的および精神的なリスクと、健康と教育がもたらすメリットを説明します。さらにPactは、危険にさらされている若者が採掘以外のスキルを学ぶ職業教育プログラムも開始しました。職業トレーニングの機会を得たことで、一部の若者たちは鉱山から完全に退去しました。

「民間企業の関与は、大規模な変化を達成する最も早い方法の一つであり、採掘における児童就労対策に必要となる体系的な変化に欠かせない要素です。Appleが行う職業教育のサポートによって、これからの世代にさらに多くのキャリアの機会がもたらされます」

Mark Viso氏
Pact 社長兼CEO

現地におけるPactとの取り組みに加え、Appleは2017年にFund for Global Human Rightsへの助成金を拠出しました。この基金は2003年以降、17を超える国で、前向きな変化を生み出す見込みのある活動家や草の根の組織に資金を提供し、人権擁護を促進するための取り組みを行ってきました。Appleはこの基金と協力し、DRCでの彼らの取り組みを支援しています。DRCの地元の団体は、Fund for Global Human Rightsから助成金を受けながら、女性と子どもの権利、鉱山コミュニティの経済的および社会的な権利、包括的な経済成長、司法による擁護、健康、安全、鉱山コミュニティへの公正な報酬の支払いなど、様々な課題に取り組んでいます。

地球



部品サプライヤーが設置した
水上ソーラープロジェクト
日本



Appleのサプライヤーに電力を
供給するためのソーラーパネル
中国

より環境に配慮した サプライチェーンに向かって。

2017年、Appleは環境保護のための継続的な取り組みにおいて、自らのサプライヤーとともに大きな成果を上げました。私たちは、埋め立てごみとして処理されるはずだった廃棄物の転用、素材の再利用とリサイクル、地球の貴重な資源の保護に取り組み、気候変動対策への注力を続けてきました。

環境と透明性を第一に。 だからAppleは1位になりました。



IPEのCorporate Information Transparency Indexにより、Appleが4年連続で**1位**になりました

2017年、AppleはCorporate Information Transparency Index (CITI) で4年連続1位となりました。CITIは、環境保護に関する専門知識を持つ中国の非政府組織であるInstitute of Public and Environmental Affairs (IPE) が実施しています。

AppleとIPEは継続的なパートナーシップを通じて、Appleのサプライヤーの環境パフォーマンスの改善のための機会を特定しています。特定されたギャップを是正するための改善内容の第三者による検証も、IPEの担当者と協力して行います。

IPEはまた、Appleのサプライヤーの環境管理システムにおける改善に対する独立した第三者による検証をサポートし、監督しています。さらに、このプロセスに関与しているAppleのサプライヤーの100パーセントが、IPEのプラットフォームを通して環境に関する年次監視データを公開し、実施した改善内容を継続していることを明らかにしています。

iPhoneの製造ラインオペレーター
中国



廃棄物ゼロを達成すること。 それは、100パーセント意味のあることです。

私たちが地球に与える影響を最小限に抑える方法の一つは、Apple製品を製造する際に発生する廃棄物の量を減らすことです。

2015年、私たちは廃棄物ゼロプログラムを立ち上げました。これは、素材のリサイクルや再利用の方法、廃棄物を埋め立て処理せずに転用する方法を学ぶことができるように、現場でサプライヤーをサポートするプログラムです。Underwriters Laboratories (UL) から「Zero Waste to Landfill」(埋立て廃棄物ゼロ)の認定を受けるには、工場の廃棄物が埋め立て処理をせずに100パーセント転用され、そのうち最大10パーセントが廃棄物発電施設へ送られなければなりません。

プログラムの開始時には、廃棄物による影響が最も大きい、中国にある最終組み立て施設が選ばれました。それからわずか2年で、中国にあるAppleの最終組み立て施設の100パーセントが廃棄物ゼロの認定を受けています。2017年に稼働を開始したAppleの最新の最終組み立て施設も、2018年に認定される見込みです。

2017年、私たちは取り組みを世界中に拡大し、インドでの操業も対象に含めました。世界規模で見ても、iPhoneの最終組み立て施設の100パーセントが埋立廃棄物ゼロの認定を受けています。さらに、原材料施設によるプログラムへの参加は、2016年との比較で136パーセント増加しています。



世界中にあるiPhoneの最終組み立て施設の**100%**が廃棄物ゼロの認定を受けました

100%

参加している最終組み立て施設の割合

136%

参加している原材料施設の2016年からの増加率

62.5万

トンの廃棄物が2015年以降に埋め立て処理せずに転用されています。これは、2,545面のサッカー場を1メートルの厚さで覆うのに十分な量です

私たちはAppleのサプライヤーがこの目標を達成できるように、持続可能な廃棄物管理ソリューションの専門家によるサービスなど、必要なツールやガイドを提供しています。サプライヤーは、数か月の時間を費やししながら、素材をリサイクルする方法や再利用する方法を特定します。これは結果的にサプライヤーの環境管理システムの改善につながるだけでなく、エネルギーの継続的な節約によるメリットももたらします。

廃棄物ゼロを工場から地域社会へ。

私たちは2017年の初めに、インドにあるWistronの新しいサプライヤー施設との業務を始めました。トレーニング期間中、私たちは埋立廃棄物ゼロの認定を記録的な速さで受ける方法にとどまらず、施設のある地域社会にもプラスの影響を与える方法を見出しました。

「廃棄物ゼロプログラムにより、リサイクルと廃棄物の分別に対する意識が高まるのを見るのはとても刺激的です。Wistronの従業員が廃棄物ゼロに向けたトレーニングで学んだことをどのように実践し、工場やそのほかの場所にどのように良い影響をもたらすのか、これから目にするのが楽しみです」

Shobha Savalgi氏
WistronのEnvironmental Health and Safety専門家、廃棄物ゼロのインストラクター

廃棄物ゼロプログラムの重要な要素は、施設のすべての従業員に廃棄物の管理に関するトレーニングを提供することです。トレーニングを受けることで、Wistron Indiaの従業員はリサイクルと廃棄物の分別に関する知識を深め、それがきっかけとなって、学んだことを家でも実践するようになります。そしてWistronの施設がある地域社会も、自分たちがすべきことを実践するようになりました。「きれいなベンガルール」を作るために、地方政府が市内で廃棄物の分別を推進するようになったのです。

Wistron Indiaでは、廃棄物を埋め立て処理に送ることを避けるため、施設の計画当初から廃棄物管理の手法を操業計画に取り入れました。Appleとのパートナーシップには、リサイクルできる保護材を選ぶための支援や、寿命を終えた素材を再生できるサービスピロバイダの選定も含まれます。

Wistronは操業一年目にして廃棄物の転用率100パーセントを達成し、2017年末にULに認定されています。これは、どのサプライヤーをも上回る速さでした。

廃棄物ゼロを指導するインストラクター
インド



埋立廃棄物に新しい命を。

Appleでは、iPhoneの製造時にフィルムを使ってディスプレイとボディの両方を保護しています。このフィルムとその裏のライナー、そして後工程の組み立てラインに製品を輸送するトレイは、ポリエチレンテレフタレート(PET)で作られています。私たちはFoxconnと協力して、廃棄するフィルムのライナー素材を使ってトレイを作る、PETの新しいリサイクルプロセスを開発しました。ライナーを再利用することで、輸送費と炭素排出量を削減できるだけでなく、毎年200トン以上の固形廃棄物を排除できます。

PETライナーのプロセス

以前



①

部品が組み立てラインを離れる

ライナーから保護フィルムをはがし、PETライナーを埋め立て処理場へ送っていました。



②

ライナーが埋め立て処理される

ライナーを輸送して埋め立て処理していたため、毎年約200トンの固形廃棄物が発生していました。

PETライナーのプロセス

現在

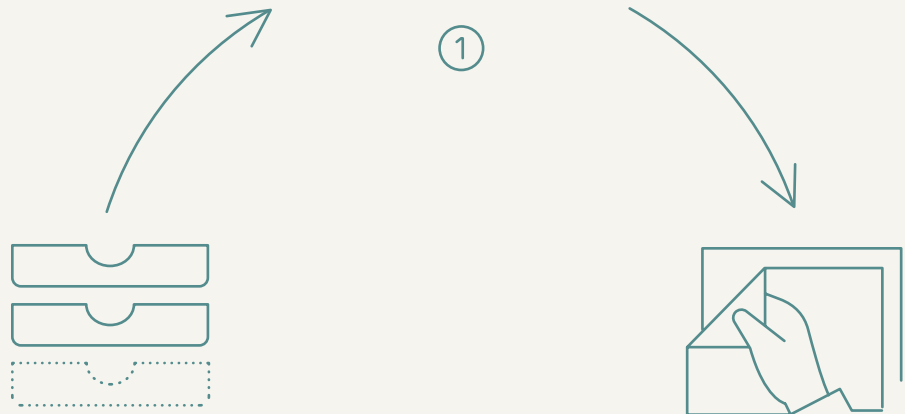
①

製造時にiPhoneのスクリーンを守るために使われる保護フィルムとライナーが役目を終えます。



②

保護フィルムとライナーが分離され、一方はリサイクルに、一方はエネルギー回収に使われます。



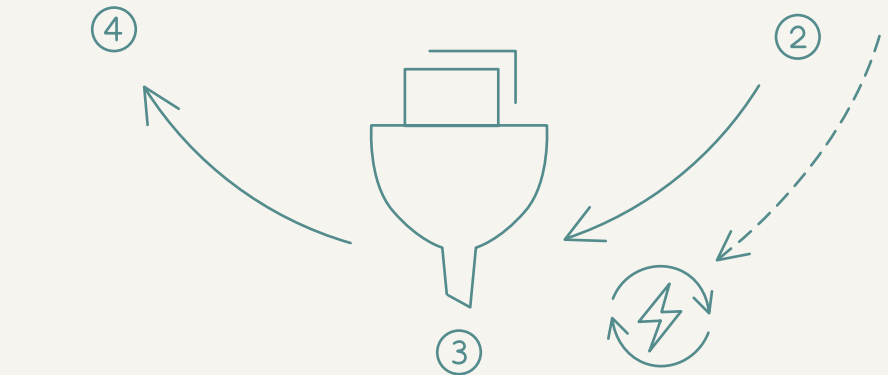
③

リサイクルされた部分は、製造時に使われるトレイに変わります。



④

トレイは製造プロセスの後半でiPhoneを固定するために使われます。



廃棄物を転用するほかの方法を検討する際は、Appleのオペレーションチームと連携して、製造プロセスで素材を最大限に活用する方法を見つけます。しかし私たちの取り組みは、そこで終わりではありません。私たちは、製造プロセスで使用する化学物質まで考慮します。

サプライヤーと連携して、 化学物質を安全に管理しています。



最終組み立て施設で使われる
プロセス薬品に関するAppleの
規制物質仕様書の遵守率が、
3年連続で100パーセントに
達していることが確認されました

2017年、最終組み立て施設で使われるプロセス薬品に関するAppleの規制物質仕様書 (RSS) の遵守率が、3年連続で100パーセントに達していることが確認されました。私たちはまた、RSS遵守をサプライチェーンのさらに深部にある原材料の業者と部品製造業者にも拡大できるように努めました。

私たちは2014年に化学物質管理プログラムを立ち上げました。これにより、サプライヤーが化学物質を安全に管理するための包括的なアプローチを開発できるように支援しています。このプログラムでは、サプライヤーが各工程でより環境に配慮した、より毒性の少ない代替化学物質を導入できるように、Appleの特定分野専門家が支援します。さらに私たちは、包括的な化学物質管理プログラムの重要な要素を査定し、施設内の化学物質の安全を自主的に管理できる能力を開発するため、工場の責任者たちと連携しています。これらの重要な要素には、化学物質のリスト化、リスク査定、リスクコントロール、従業員のための危険有害性周知トレーニング、管理トレーニング、医学的監視、化学物質の取り扱い、緊急事態対策が含まれます。

80%

2016年からのプログラム参加者の
増加率

113

のサプライヤー施設がプログラムに
参加

より環境に配慮した代替物を見つけるために。



Mind the StoreのReport
Card on Retailer Actions to
Eliminate Toxic Chemicals
でA評価

2017年、化学物質管理プログラムでは、より環境に配慮した物質を特定することに注力しました。より環境に配慮した代替物が見つかる可能性について理解を深めるため、私たちはAppleの最終組み立て施設で使われている化学物質をマッピングし、換気、作業員の保護具、従業員トレーニングプログラムなど、すべての管理方法を査定しました。

このマッピングと査定の活動の結果が、より環境に配慮した洗浄剤の導入を推進する、2017年の革新的なパートナーシップの基盤となりました。Appleの最終組み立て施設からベンチマーク1およびベンチマーク2の洗浄剤を完全になくすため、代替物が特定され、置き換えの実現可能性調査が実施されました。この過程で、ベンチマーク1では3つの、ベンチマーク2では26の洗浄剤と脱脂剤が特定され、置き換えられました。

化学物質が健康と環境に与える影響を評価し、より良い代替物を見つけるために、GreenScreen®のフレームワークと米国環境保護庁のSafer Choice Programが使われました。2017年には、世界各地の18か所の最終組み立て施設でこのプロセスを完了しました。

私たちは、GreenScreen®の化学物質ベンチマークのカテゴリーに従って、化学物質を分類しています。



ベンチマーク 4
好ましい、より安全な
化学物質です



ベンチマーク 3
使用しますが、改善の
余地があります



ベンチマーク 2
使用しますが、より安全な
代替物を探します



ベンチマーク 1
使用を避けるべき、
高懸念化学物質です

水の使用量を減らすための、明確なプラン。

2013年、AppleのClean Water Programが、13か所の施設で開始されました。私たちは、工程で水を多用し、水が少ない地域か水不足状態にある地域に位置し、包括的な水管理プログラムを必要としている施設に焦点を絞ることにより、リスクベースのアプローチを取りました。

Clean Water Programは、サプライヤーが長期的な水管理システムを開発し、徐々にパフォーマンスを改善しながら効率を向上できるようにするために、特別に設計されています。こうした改善は、サプライヤー施設での水の使用量と使用の種類、現在行われている廃水処理、水管理に関する継続的な取り組みを査定することにより達成されます。

サプライヤーは、水の使用量を削減し、再利用を推進し、排水の品質を確実に高め、水質汚染を防止するためのトレーニングを受けます。このプロセスにより、サプライヤーは環境面と経済面の長期的なメリットを特定するためのツールを手に入れることができます。

私たちは、サプライヤー施設向けに、ベストプラクティスを伝え、共有するための技術セミナーを開催しています。教育はこのプログラムの主要な要素です。水が少ない地域でのリスクを最小限に抑えるため、その地域の環境と規制要件の厳格さに応じて、サプライヤーは特定の工程における水の使用許可について学びます。このプログラムが目指すのは、査定のパフォーマンス改善だけではありません。サプライヤーが長期的に優れたパフォーマンスを保ち、それぞれのコミュニティの中で責任ある隣人となるための能力を高めることを目指しているのです。

2017年、Appleのサプライヤー
パートナーは1,930万キロリットル
の真水節約を達成しました。
2013年にプログラムが始まって
以来、5,148万キロリットルの水が
節約されています

プログラムに参加している
中国の工場は、37パーセントの
平均再利用率を達成しました

コミュニティに良い影響をもたらす 水ソリューションを見つけます。

2017年、飲料水サプライヤーの調査として始まったことが、より効率が良い飲料水分配システムをAppleの直営店に導入する取り組みへと発展しました。地球に優しい水濾過ソリューションは、その始まりにすぎません。これは、私たちが事業を展開するコミュニティ、特に水不足状態にある南カリフォルニアに貢献するまたとない機会であり、ロサンゼルス地区の直営店事業における水の消費で、差し引きプラスの好影響をもたらしました。

Appleは、Bonneville Environmental Foundation (BEF) と提携し、南カリフォルニアに水を供給する川および湿地帯の復元を支援するためにWater Restoration Certificates (WRC) を購入しました。BEFプログラムは、農業主、牧場主、そのほかの水を大量に使う利用者に対し、水が乏しい生態系に水を復元するソリューションの開発を奨励しています。AppleがWRCを一つ購入するたびに、サクラメント川流域の湿地保護区に3.8キロリットルの水が復元されることになります。私たちの支援は、南カリフォルニアにある26のApple直営店が前年に消費した水量の2倍の水を復元することにつながります。

Appleの社員は、水に関して差し引きプラスの好影響を促進するだけでなく、自分たちのコミュニティへの支援もしたいと考えました。そこでLA WAYS Water Smart Parkを流れるロサンゼルス川の再生に寄与するため、私たちはBEFおよびHeal the Bayとパートナーシップを結びました。サウス・セントラル・ロサンゼルスで雨水の保持と濾過を行うこの3.6ヘクタールの公園を改善する取り組みは、2017年末に始まり、今年中に完了する予定です。この自律型の公園は、汚染を軽減し、地下水を再び補充し、地域の気候変動を抑制する効果をもたらします。さらにこの公園は、生きた教材として、これまで十分な公共サービスを受けられなかったコミュニティの住民に貴重な環境教育の機会を提供することでしょう。

LA WAYS Parkの計画図
米国



エネルギー効率の力。

2017年の結果：



年換算で32万トンの温室効果ガス排出量が削減されました



プログラムの参加者数が77%増加しました



製造工程における炭素排出量を削減するため、2020年までに4ギガワットのクリーンエネルギーを用意します

私たちはサプライヤーのエネルギー使用量を削減し、再生可能エネルギープロジェクトに投資するために、サプライヤーと密接に協力し合っています。それぞれのプログラムが野心的な目標を掲げ、「出会った時よりも良い世界を未来に渡す」というAppleの使命をサポートしています。

Appleは、2015年にサプライヤーエネルギー効率化プログラムを立ち上げました。このプログラムでは、エネルギー使用量と炭素排出量を削減する機会を明らかにするためのトレーニングをサプライヤーに提供します。プログラムの初年度には、エネルギーの使用量が最も多く、改善の可能性がある製造施設に焦点を絞りました。これには、アルミニウムケース、電気、ガラス、光学技術のサプライヤーが含まれます。2018年には、Appleのサプライヤー行動規範にサプライヤー向けの要件を追加し、炭素排出量の年間目標を設定しています。

Appleは徹底したエネルギー評価を実施し、サプライヤー施設で改善が必要な部分を特定しています。サプライヤーには、照明の更新、モーションセンサー、プロセス暖房および冷房、圧縮空気など、インフラストラクチャーへの投資を推奨しています。この評価により、サプライヤーはエネルギー効率の改善策を導入するための投資によって得られる潜在的な利益について、費用対効果の分析を行うことができます。

2017年、プログラムの合計参加者数は77パーセント増加し、炭素排出量の削減は113パーセント向上しました。プログラムに参加しているサプライヤーによるエネルギー効率改善策の実施は、2017年に年換算で32万トン以上に上る温室効果ガス排出量削減につながりました。

Supplier Clean Energy Program

地球を守るための私たちの取り組みでは、すべてのサプライヤー施設で炭素排出量を管理する必要があるという認識をさらに広めることが不可欠です。AppleとAppleのサプライヤーは、クリーンエネルギープログラムを通して、2020年までに全世界で4ギガワット以上のクリーンエネルギーを生産および調達し、Apple製品の製造に関連する炭素排出量を削減します。

私たちは、Appleが事業を展開している地域の政府と連携し、プログラムを政府の優先事項に合わせながら、再生可能エネルギーを推進する政策の導入を促しています。サプライヤーには、クリーンエネルギー調達のための地域別ガイドランスとツールとして役立つ、AppleのSupplierCareプラットフォームを現地の言語で提供しています。AppleのサプライヤーはSupplierCareによって、全世界の再生エネルギーの市場および政策に関するグローバルな知見や最新情報を得ることができます。

このプログラムの導入以来、16のサプライヤーが、Apple製品の製造をクリーンなエネルギーで100パーセントまかなうことを確約しています。Appleによる投資とサプライヤーの取り組みによって、Appleの製造工程における炭素排出量を削減するために、現在3ギガワット近くのクリーンエネルギーが確保されています。



私たちは引き続き、Appleの施設、製品、サプライチェーンにおいて、環境に関する優先課題への取り組みを進めています。私たちのこれまでの進捗について詳しくはこちらをご覧ください

[2018年の環境責任報告書をダウンロード\(英語PDF\) ⬇](#)

最終的には、AppleとAppleのサプライヤーがともに努力を重ねることでエネルギー効率を向上させ、Appleの製造工程のために4ギガワット以上の新しいクリーンエネルギーを用意します。すべてのプログラムを合わせた包括的なゴールは、Appleのサプライヤー各社に自らのサプライヤーのための目標を設定する力を身につけてもらい、各プログラムの全体的な影響を拡大することです。

Appleのサプライヤーに電力を供給するソーラーパネル
中国



あるサプライヤーが、環境のために基準をはるかに超えた取り組みをしています。

中国の深圳市にあるAvary Holdingは、7年以上にわたりAppleのサプライヤーとして業務をしてきました。Avaryは環境保護のための改善策を強く支持し、Appleと共に、私たちのサプライヤー行動規範の規定をはるかに上回るプログラムを開発しています。

Avaryは廃棄物ゼロの認定を取得するための取り組みを進めながら、埋立廃棄物の排除を超える領域にまで、自社の影響を広げようとしています。製造工程で生じる廃棄物の流れから銅を回収するシステムへの投資や、従業員と環境を守るための業界をリードする化学物質管理方法の確立など、Avaryは自社工場での環境のための様々な改善策を実施しています。2016年にClean Water Programを修了した最初のサプライヤーとして、Avaryは、包括的な水量計測システムの導入、部品製造における水消費量の最適化、冷却システム、造園、下水処理システムにプロセス水を再利用する方法の開発を通じ、58パーセントという驚くべき廃水再利用率を達成しました。

Avaryの環境に対する取り組みは注目を集めました。そして、彼らの成果を受けて、中国における環境に配慮した製造業を促進する施策の一環として、中国政府がAvaryをGreen Manufacturingのパイロット施設に指定しました。さらに2016年、水資源の保全に関する改善により、Avaryは中国で最初にClean Water Programを修了したサプライヤーになりました。

2017年の行動規範査定結果

進捗



iPhoneの製造ラインマネージャーたち
中国



iPhoneの製造ラインマネージャー
インド

誰よりも先に、 基準を引き上げます。

Appleは現在、30か国のサプライヤーと業務をしており、各サプライヤーの事業規模は十数人から数十万人にまで及びます。私たちはこれからも、人と地球のために、業界で最も厳しい保護対策を推進する努力を続けます。こうしたサプライヤーとのパートナーシップを通じて、私たちはより責任のある、より環境に配慮したサプライチェーンを作り出しているのです。

強いパートナーシップが、 強い結果を生みます。

私たちのサプライヤーとのパートナーシップは、Appleのサプライヤー行動規範に対する責任を共有することから始まります。Appleのサプライヤー行動規範と、それに関連する基準は、労働と人権、職場の健康と安全、環境保護、管理システムといった領域で、Appleのサプライヤーがいかに責任を持って事業を行うべきかについて、Appleの期待値を設定しています。私たちは毎年、Appleのサプライヤー行動規範に新しい要件を追加しています。そして、この規範が業界で最も厳しいものの一つであることに誇りに思います。

私たちのサプライヤーによる基準遵守のレベルは、毎年実施される査定で評価されます。サプライヤーを評価し、それぞれをハイパーフォーマー、ミディアムフォーマー、ローフォーマーに分類するために、500以上のデータポイントを用いて標準化された採点方法が使われています。私たちは、より多くのサプライヤーに初回の査定を実施できるよう、毎年取り組みを拡大しています。そのサプライヤーと初めて業務を行う時でも、繰り返し取引する時でも、私たちは常に同じ目標を設定しています。それは、サプライヤーの能力を開発し、いつか彼らが自分たちの事業において、Appleのサプライヤー行動規範の高い基準を独自に維持できるようにすることです。

iPhoneの製造ラインオペレーター
中国



2017年のデータ

2017年、Appleは30か国で756件の査定を実施しました。これは、Appleのすべての取引の95パーセントに相当します。この756件のうち、197件が初めて訪問した施設での初回査定でした。今後もリスクベースのアプローチに重点を置きながら、能力構築のための私たちの取り組みを、前年より多くのサプライヤーに毎年届け続けることが極めて重要です。

Appleの2017年のサプライヤー進捗状況報告書には、製造、ロジスティクス、リペアセンター、コンタクトセンターの各施設における査定結果が含まれています。査定対象となった各施設は、100点を満点とする点数評価により、Appleの行動規範と照らし合わせてパフォーマンスを評価されます。90点から100点を獲得したサプライヤーは、高いパフォーマンスをおさめた「ハイパフォーマー」です。59点以下の場合はパフォーマンスの低い「ローパフォーマー」、60点から89点の場合は「ミディアムパフォーマー」となります。

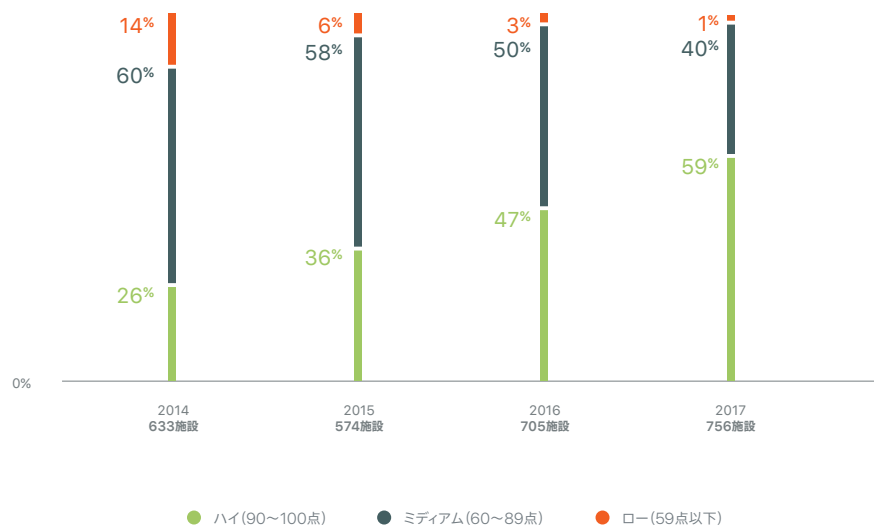
2017年には、Appleのサプライチェーンにおけるローパフォーマーの施設は71パーセント減少し、ハイパフォーマーのサプライヤーは35パーセント増加しました。昨年は、Appleが実施したすべての査定のうち26パーセントが初回の査定でした。

2017年:



私たちの目標は、これまで以上に倫理的で責任ある、さらに環境に配慮した事業ができるようにサプライヤーを支援することです。私たちは数週間、時には数か月を費やし、プログラムで「ローパフォーマー」または「ミディアムパフォーマー」と位置付けられたサプライヤーとともに、施設ごとに特化した能力構築プログラムを作成します。ここではAppleの特定分野専門家がサプライヤーと協力して、包括的な根本原因分析を行い、カスタマイズされた改善プランを構築します。また、定期的な施設訪問を通してサプライヤーの改善を促し続け、能力向上のためのトレーニングを実施します。さらに、サプライヤーに能力構築とプロセス改善についてのアドバイスを提供する、Appleが開発した150以上の技術ツールも利用できます。その結果、サプライヤーは長期にわたってパフォーマンスを独自に維持し、向上させられるようになります。

能力構築の評価

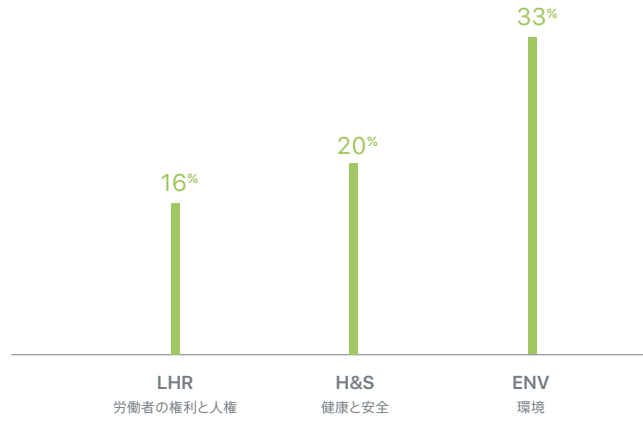


39の新しいツールを
サプライヤーの能力構築の
ために開発しました

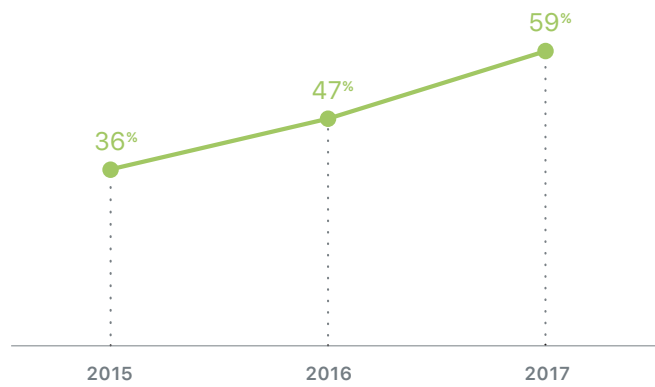
「Appleのコンサルティングで私たちの考え方の幅が広がり、
一段と包括的な管理プランを策定できるようになりました。
何度も施設に足を運んでもらいながら問題を特定し、解決に
向けて力を合わせたので、Appleとの真のパートナーシップを
感じる事ができました」

Lin Shih-Ming氏
Maktec社 総務部長
台湾

参加サプライヤーのスコアにおける前年比の平均改善率



ハイパフォーマーの割合



2017年の評価スコア

私たちはサプライヤー査定結果を、その深刻さに応じて、3段階に分類しています。

● 管理上の不遵守

ポリシー、手順、トレーニング、コミュニケーションに関する査定結果。

例：

- 記録の保存方法が不適切
- ポリシーまたは手順についての文書が不適切
- ポリシーについてのトレーニングが不十分

● 違反

実施に関する査定結果。

例：

- 福利厚生への給付が不十分
- 雇用前、雇用中、離職後の業務関連健康診断がない、または不適切
- 環境に関する許認可がない、または不適切

● 重大な違反

Appleが行動規範に対する最も深刻な違反とみなす査定結果を含む。Appleはこれらの違反を一切容認しません。

例：

- 未成年者の就労または強制労働
- 書類の改ざん
- 従業員への脅迫または報復
- 環境と安全に対する脅威

2017年の査定結果

労働者の権利と人権



100点満点で86点
労働者の権利と人権に
関する平均スコア

2017年にAppleがサプライチェーン全体で実施した756件の査定で、労働者の権利と人権に関する平均スコアは100点満点で86点でした。

2017年には、賃金と福利厚生、強制労働の防止、学生インターンの管理の分野において、労働者の権利と人権に関するパフォーマンスの基準をさらに引き上げました。

賃金と福利厚生については、残業時間の賃金に関する法律上の規定がない国々において残業が発生した場合、最低でも25パーセント増の賃金を支払うことが、Appleのサプライヤーに対して義務付けられました。加えて、遅刻を根拠とする賃金の過剰な減額を防止するため、サプライヤー従業員が遅れた正確な時間数と分数にもとづいて、遅刻による賃金の減額を制限することが新たに義務付けられました。

強制労働を防止する要件を強調するために、サプライヤーが遵守すべき基準が追加されました。この基準では、民間の人材派遣業者を介して採用された従業員に対し、法律によって定められる福利厚生が確実に給付され、かつ適切な時に適正な賃金が支払われるように、様々な精査のプロセスを確立することが求められます。民間の人材派遣業者と取引を行うサプライヤーは、Appleの手数料ゼロポリシーを確実に遵守するために、外国人契約従業員の採用に関する手数料と費用の全額を、その派遣業者とサプライヤー施設間で締結される契約書に明記することが義務付けられます。

また2017年には、サプライヤー施設における学生インターンの数を全従業員の10パーセント以下に制限するために、諸要件が引き上げられました。

労働者の権利と人権の遵守に関する基準を引き上げました



残業時間の賃金に関する
世界共通の基準



遅刻による賃金の
減額を制限



民間の人材派遣業者を
介して採用された外国人
契約従業員のための
保護措置



サプライヤー施設の
学生従業員を
10%以下に制限

2017年に見つかった違反の大半が、賃金と福利厚生の不適切な給付と労働時間に関するものでした。賃金の不適切な給付による違反の一例は、就業前に行われる参加が義務化されたミーティングに対して賃金が支払われないことです。そのうちの1件については、5分間にわたって行われた就業前のミーティングに対して従業員に賃金を支払うように、Appleがサプライヤーに要求しました。

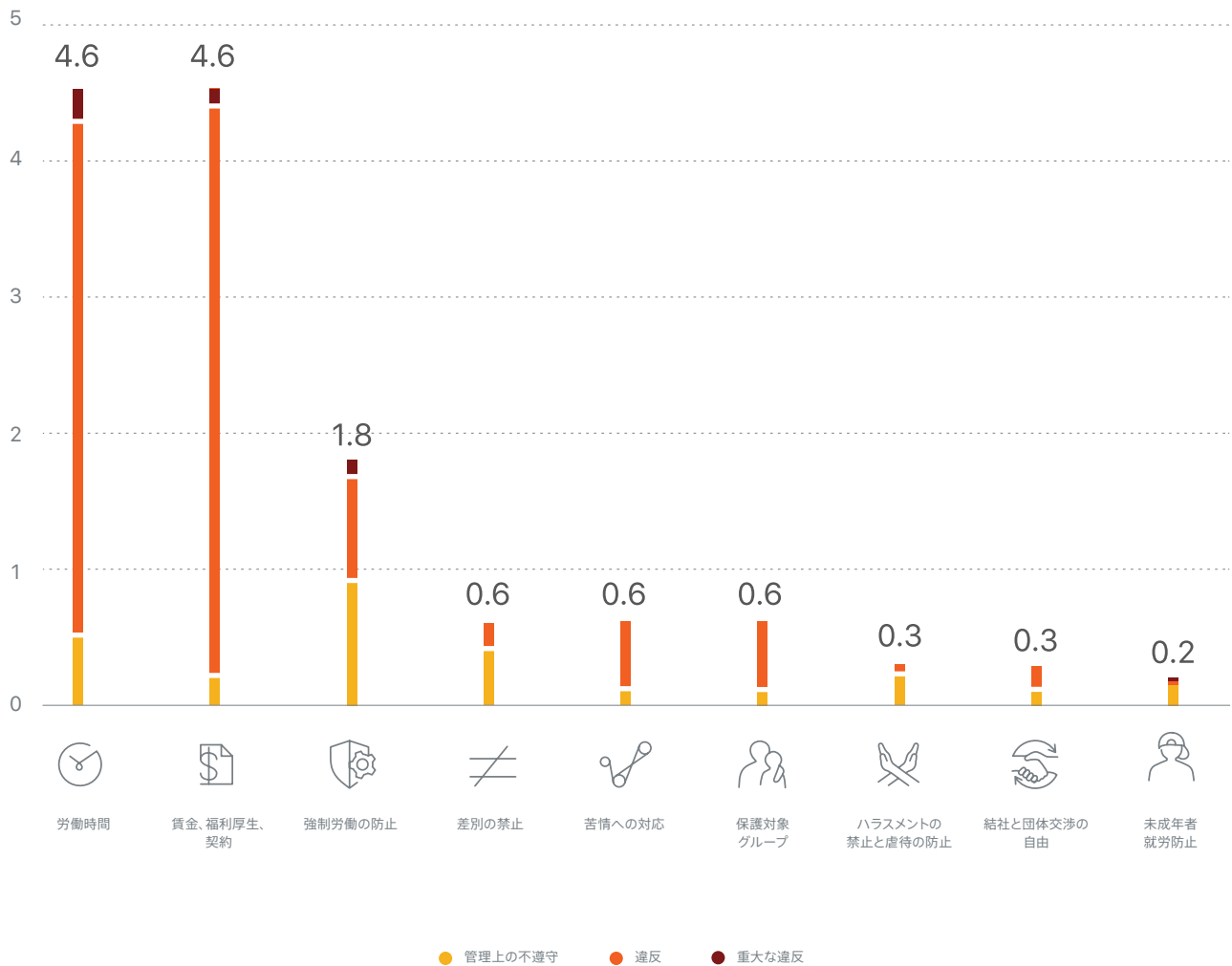
福利厚生に関する違反では、サプライヤーが法律によって規定された福利厚生を給付しない、または残業時間に対して法律とAppleの要件が規定する割増賃金が支払われない例が挙げられます。すべての事例において、Appleはサプライヤーと連携して、従業員に必ず全額が支払われるようにします。

労働時間に関する違反では、労働時間の上限である週60時間を超えていたり、6日間連続労働のあとに休日が設けられていない例が挙げられます。

割合は低いものの、差別の禁止、ハラスメントの禁止、苦情報告システムに関する違反のほか、未成年および学生従業員などの特殊な種類の労働者保護に関するプロセスの違反も見つかりました。

労働者の権利と人権の不遵守の内訳

756件の査定にもとづく内訳。100点を満点とする評価システムを採用。

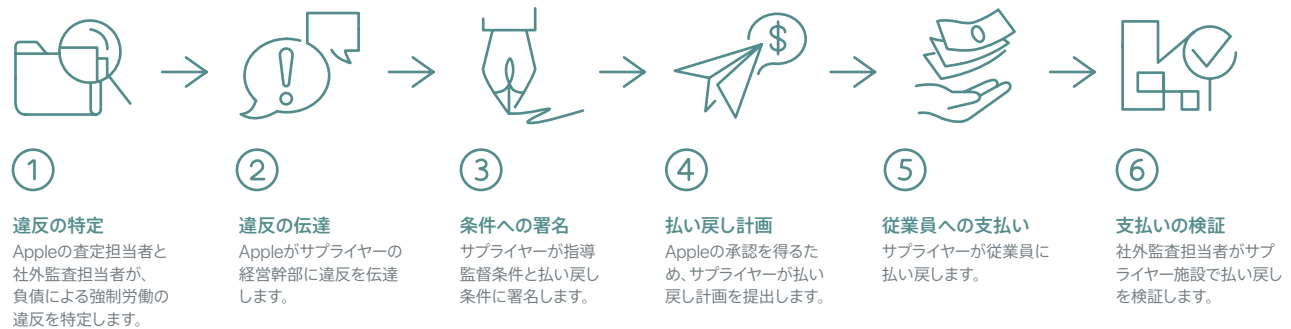


2017年には、労働者の権利と人権についての44件の重大な違反が明らかになりました。これらの違反には、強制労働3件、労働時間の改ざん38件、情報取得の妨害1件、未成年者の就労2件が含まれます。

負債による強制労働

2015年以降、Appleは、採用機会のための手数料を外国人契約従業員に対して請求することを一切禁止するように義務付けました。2017年には、3社のサプライヤーにおいて、斡旋手数料を請求された外国人契約従業員がいることが明らかになりました。それぞれの事例において、サプライヤーは斡旋手数料の全額を被害を受けたすべての従業員に払い戻すように求められました。一つの事例では、民間の人材派遣業者を介して、700名を超えるフィリピンからの外国人契約従業員がサプライヤーで働くために採用された結果、1億円を超える法外な斡旋手数料が発生しました。Appleは、被害を受けた各従業員への払い戻し額をチェックし、現地で検証を行って実際の払い戻しを確認しています。また、従業員に事前の斡旋手数料を請求する民間の人材派遣業者がその慣行を改めて、今後の取引でこうした違反を犯さないことを約束しない限り、その業者との取引を打ち切ることをサプライヤーに義務付けています。2008年以降、30億円以上が3万5,000人を超える外国人契約従業員に払い戻されています。

負債による強制労働の是正プロセス



労働時間の改ざん

Appleの労働時間ポリシーは、国際労働機関とResponsible Business Alliance (RBA)の基準にもとづき、労働時間を週60時間までに制限しています。また、サプライヤーが残業を提案できるのは任意の場合に限られます。工場は6日間の就業日ごとに、1日の休日を従業員に与えなければなりません。

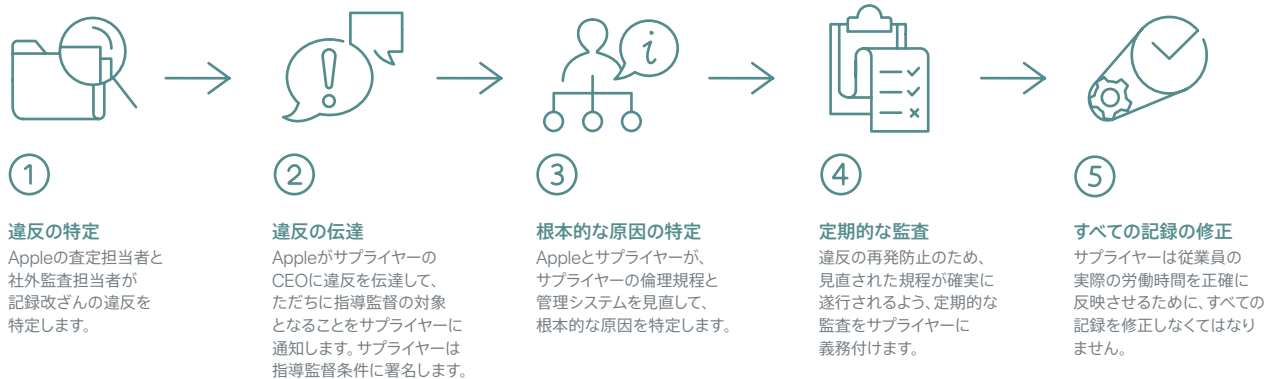
Appleの広大なサプライチェーンの拠点全体で労働時間をより良く管理するために、私たちは2011年に労働時間プログラムを立ち上げました。2012年には、100万人を超えるサプライヤー従業員の労働時間を週単位でモニターしました。それ以降、プログラムのモニター対象となる従業員の数は毎年増え続け、2017年には130万人の労働時間を週単位で追跡しました。



130万人の従業員
を週単位でモニター
しました

従業員の労働時間の改ざんが発覚した場合、違反はサプライヤーのCEOに報告され、そのサプライヤーはただちに指導監督の対象となります。そしてサプライヤーの倫理規程と管理システムを徹底的に見直すことで根本的な原因を特定し、システム上の是正を行います。サプライヤーには、違反の再発防止のため、見直された規程が確実に遂行されるように定期的な監査を行うことを義務付けます。さらに、サプライヤーは従業員の実際の労働時間を正確に反映させるために、すべての記録を修正しなくてはなりません。2017年には、38件の労働時間データの改ざんが明らかになり、すべての事例において、サプライヤーはただちに指導監督の対象となりました。2017年のサプライヤーによる労働時間の遵守率は全体で94パーセントでした。

労働時間改ざんの是正プロセス

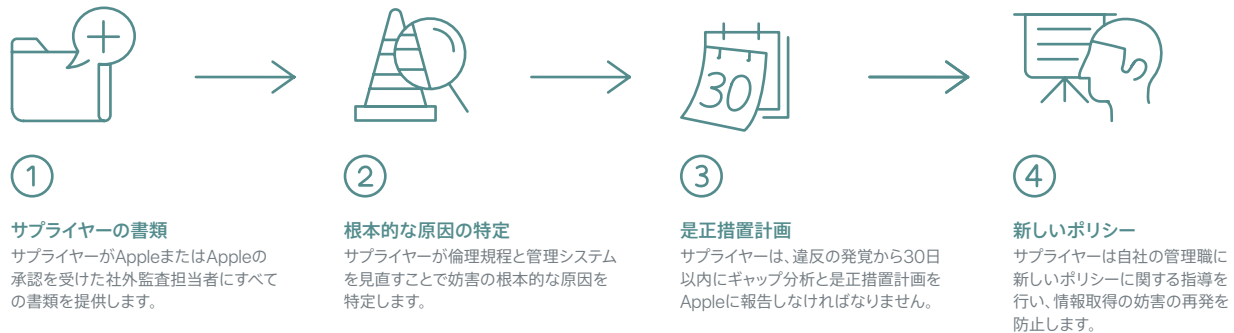


情報取得の妨害

査定の期間中にサプライヤー施設での情報取得が妨げられた場合、そのサプライヤーはAppleの査定チーム、またはAppleから承認を受けた有資格の社外監査担当者に対するすべての記録を提供することを義務付けられます。

2017年、あるサプライヤーが施設での情報取得を妨げて、生産記録、第三者の監査、または賃金計算を証明する書類の提出を拒否しました。この結果、サプライヤーは重大な違反を犯したとみなされました。査定の期間中、サプライヤーが確認用の必要書類の提出を拒否すると、重大な違反とみなされます。このような場合、サプライヤーは独立した第三者を雇ってすべての関連記録の包括的な見直しを行い、遵守を証明することが求められます。またサプライヤーは、倫理規程と管理システムを見直すことで情報取得の妨害に至った根本的な原因を特定し、違反が発覚した日から30日以内に実行すべき是正措置計画を立てるように義務付けられます。最後にサプライヤーは、査定中の妨害行為が再発することがないように、自社の管理職に対してトレーニングを実施するように求められます。

情報取得の妨害の是正プロセス



未成年者の就労

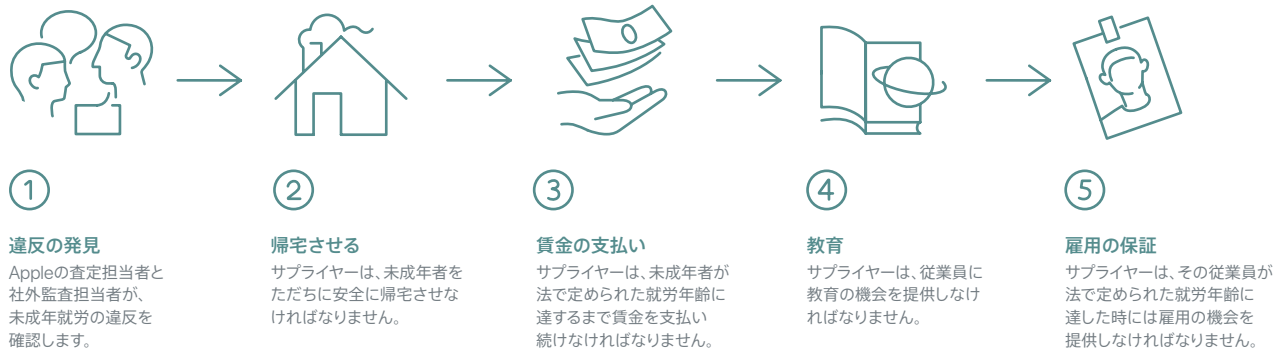
査定においては、サプライヤーの管理システムが未成年者の就労を防ぐことができるかどうかを徹底的に分析されます。査定担当者は、サプライヤーが求職者の年齢を確認するためにどのような手順を踏んでいるか、面接プロセスで求職者が未成年者ではないかどうかを積極的に確認しているか、またそれに続く研修プロセスの中でどのような方法で年齢を再確認しているかについて検証します。また、監査担当者は人事ファイルを確認し、未成年と思われる従業員に対しては個別面接を行います。

未成年者の就労が明らかになった場合、その事例に関する詳細な検証が社外の専門査定機関によって行われます。サプライヤーは、その未成年従業員の就労を中止し、安全に帰宅させるよう求められます。その未成年従業員と保護者には教育の機会が提供されます。

その未成年従業員が学校に通う間、サプライヤーは授業料とそのほかの関連費用を支払うとともに、賃金も支払い続けるよう義務付けられます。社外監査担当者は、その未成年従業員を定期的に学校に訪ね、進捗状況を確認します。その未成年者が法で定められた就労年齢に達した時には、サプライヤーは再雇用の機会を与えなければなりません。

2017年には、2件の未成年就労が明らかになりました。2人の未成年従業員はそれぞれ14歳と15歳でした。どちらの事例も、職を得るために偽の身分証明書を使用していました。発覚後、2人はただちに自宅に送られ、サプライヤーから給料を受け取り続けながら、自分たちが選んだ学校に入学しました。彼らが法で定められた最低就労年齢に達し、復職を希望した場合は、元のサプライヤー施設で雇用の機会が与えられます。

未成年者就労に関するプロセス



2017年の査定結果

健康と安全



100点満点で90点
健康と安全の平均スコア

2017年にAppleがサプライチェーン全体で実施した756件の査定で、健康と安全に関する平均スコアは100点満点で90点でした。

2017年に見つかった違反の大半が、労働安全衛生と危険防止、および緊急事態の予防、準備と対応に関するものでした。

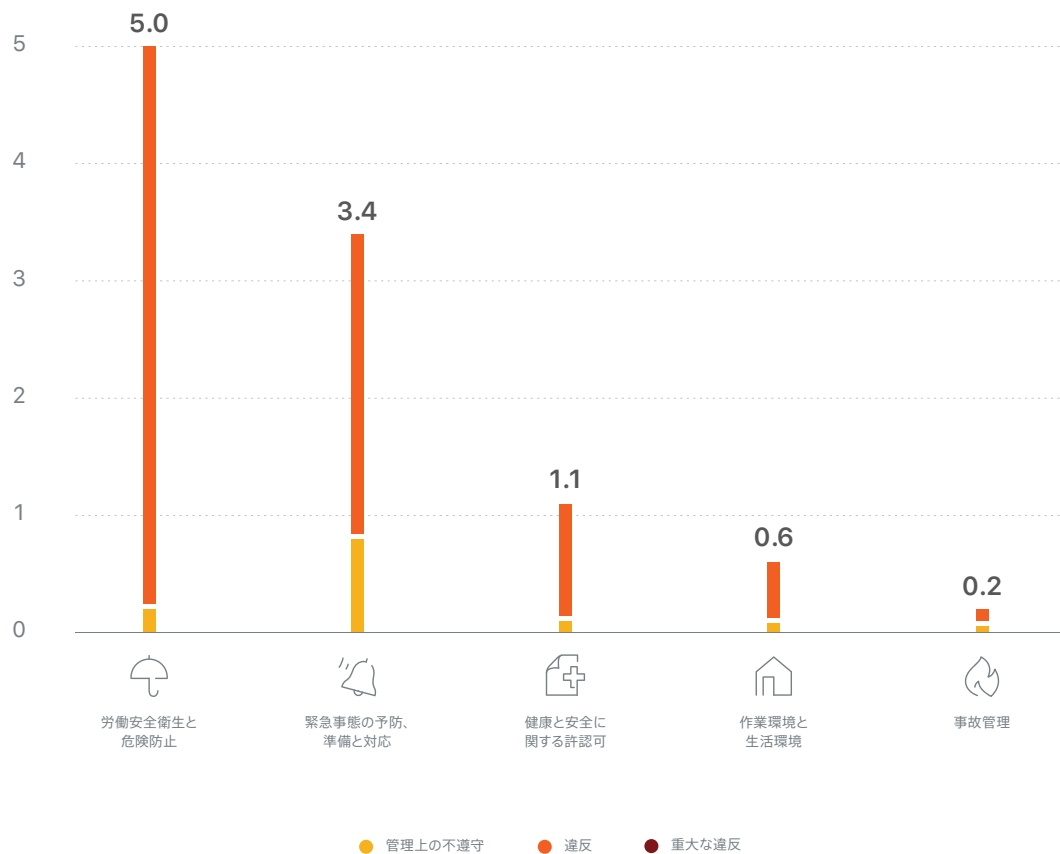
労働安全衛生と危険防止の違反の例には、化学的、生物学的、物理的な危険に対する不適切な監視方法があります。不適切な慣行が見つかった場合には、そのサプライヤーは資格を満たした検査会社に依頼し、法的基準とAppleの要件にもとづく監視を実施するよう求められます。さらに、Appleの特定分野専門家が、包括的な労働安全衛生リスク査定の実施、施設内にある労働安全衛生上の危険項目の完全なリスト化、定期的な監視計画の策定についてサプライヤーに指導し、サプライヤーのチームメンバーがすべての要件を理解できるようにコーチングを提供します。化学的、生物学的、物理的な危険を検査する健康部門のマネージャーが任命されているにもかかわらず、定期的な週ごとの監視プランが策定されていない場合、その施設は違反の通告を受けます。

緊急事態の予防、準備、対応に関する違反の一例に、煙探知器の不適切な設置があります。2017年、私たちは、施設に消火機器は設置されているものの、すべての部屋と宿舎に火災報知器が設置されていない事例を見つけました。適切な機器が設置されていなかったり、火災報知器の定期点検を怠っているサプライヤーは違反の通告を受けます。査定の結果、割合は比較的低いものの、健康と安全に関する許認可、事故管理、作業環境と生活環境に関連した違反が見つかりました。

2017年には、健康と安全のカテゴリーに重大な違反は見つかりませんでした。

健康と安全の不遵守の内訳

756件の査定にもとづく内訳。100点を満点とする評価システムを採用。



2017年の査定結果

環境



100点満点で91点
環境に関する評価の
平均スコア

環境に関する
規制遵守の水準を
引き上げています



さらに高い基準で排水
と雨水を監視しています

2017年にAppleがサプライチェーン全体で実施した756件の査定で、環境に関する平均スコアの平均は100点満点で91点でした。

2017年、私たちは環境に関するパフォーマンスの基準をさらに引き上げました。排水の品質基準に関する要件をより厳しいものにしたのです。排水が流れ込む水域に法的な制限が設けられていない状況下では、このより厳しい基準は、汚染の可能性を防ぐために雨水の排出を監視する方法の一段と明確な指標となります。雨水管理は、放流水域の水質改善に向けた包括的戦略の中で重要な位置を占めています。Appleはまた、雨水管理に関するトレーニングをClean Water Programのトレーニングカリキュラムの中核に据えています。

2017年に見つかった違反の大半が、有害物質の管理と環境対策の許認可に関わるものでした。

有害物質の管理に関する違反には、廃棄物の不適切な保管や、廃棄物の不十分な分別が含まれます。有害物質の管理に関する違反が見つかった場合、Appleの特定分野専門家が、サプライヤーの責任者とともに、有害物質管理の役割と責任を明確に定義して、実践的なツールを提供するための取り組みを現場で行います。安全上の問題や環境に対する影響を防止するか最小限に抑えるため、サプライヤーには有害物質の保管エリアの改築が要求され、大規模な再建が求められることもあります。例えば、ある施設の廃棄物保管エリアには有害物質が保管されていることを示す一般的な警告は表示されていましたが、そこに保管されている有害廃棄物の種類を特定できる表示はありませんでした。そのため、この施設は違反の通告を受けました。

廃棄物の分別が適切でないと、二次的な危険の原因となるリスクがあります。この違反が見つかった場合、Appleの特定分野専門家が現場を訪問し、環境と職場の安全衛生を担当するサプライヤーのスタッフとともにギャップと根本的な原因を調査し、廃棄物を適切に分別し、リスクを軽減するためのツールと指導をサプライヤーに提供します。

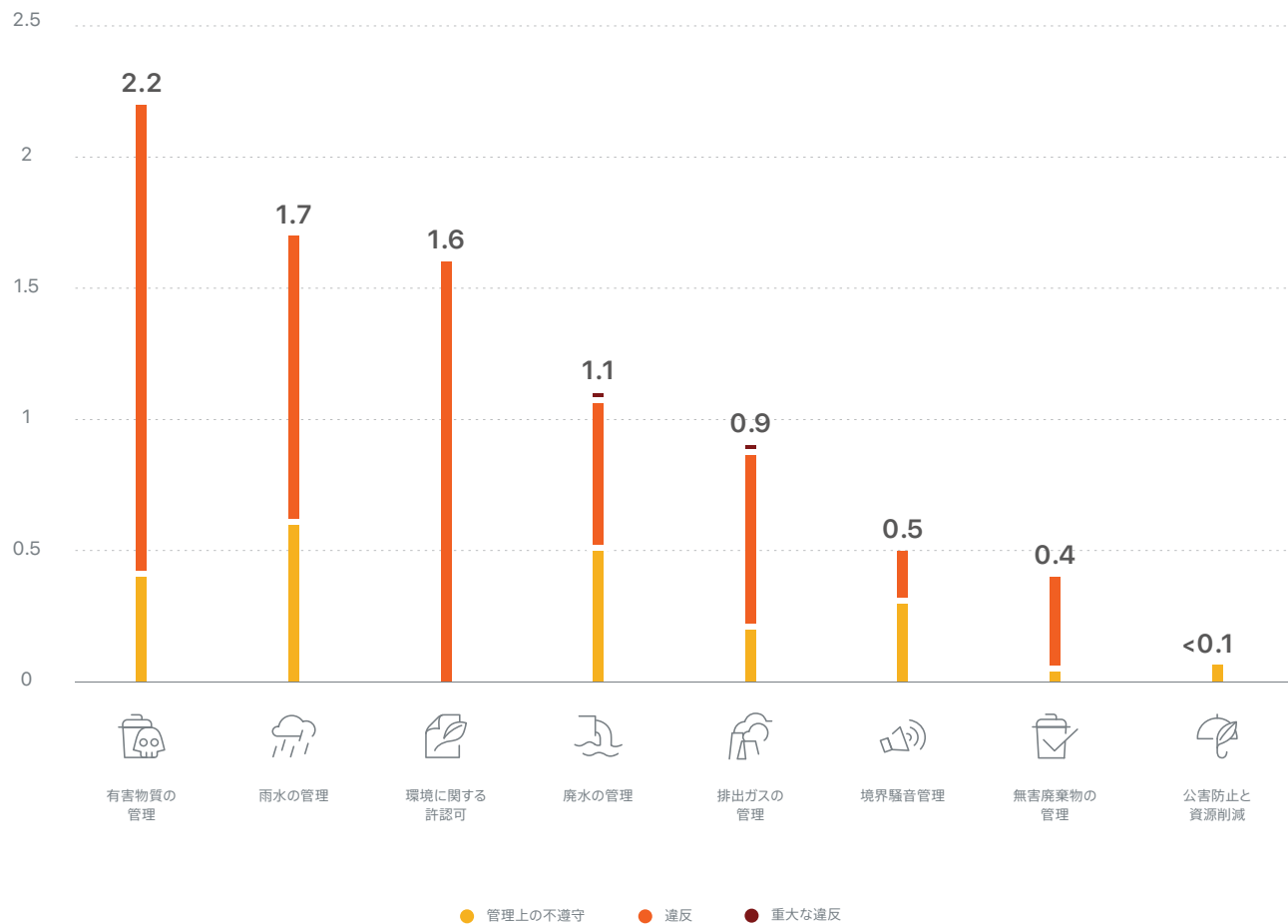
また、Appleの特定分野専門家は、サプライヤーと協力して有害物質の完全なリストと、有害物質の特性と親和性にもとづくマトリックスを作成し、あらゆるリスクを軽減するために定期的なチェックとメンテナンスを行う方法をサプライヤーに指導します。

環境に関する許認可違反の例として、許認可の期限切れや営業許可証の不足が挙げられます。環境に関する許認可は、操業のための基本的な法的要件です。許認可の期限切れや許可証の不足が見つかった場合、サプライヤーは適用される法律と管理プロセスに従って、許認可を更新するか、新しい許可証を申請するように求められます。例えば、ある施設は汚染物質排出の許可を得ていましたが、建設プロジェクトのあとで許可証の更新を怠ったために違反の通告を受けました。この時、要件を満たすために環境施設の改善をしなくてはならない状況に対してはコンサルティングを行い、必要に応じてサプライヤーを支援しました。

査定の結果、割合は比較的低いものの、排出ガスの管理、無害廃棄物の管理、境界騒音管理、公害防止に関する違反が見つかりました。

環境に関する不遵守の内訳

756件の査定にもとづく内訳。100点を満点とする評価システムを採用。



2017年には、環境に関する4件の重大な違反が見つかり、そのサプライヤーはただちに指導監督の対象となりました。そのうち3件は、2017年に私たちが取り組みを強化した不適切な排水管理に関するもので、もう1件は、排出ガスに関するものでした。

排水と排出ガス

排水と排出ガスの重大な違反があった場合、そのサプライヤーはただちに廃水またはガスの排出中止を求められます。必要な場合は、操業が停止されます。その後、サプライヤーは包括的な根本原因の分析を行い、排水または排出ガスによる将来的な事故を防止するための是正処置を講じなければなりません。排水に関する重大な違反の例には、ある施設が工程で発生した廃水を公共の排水設備に排出し、その排水中の汚染物質の濃度が法律で定められた上限を上回っていたケースがありました。この施設には、ただちに廃水の排出を中止し、廃水を仮設容器に保管した上で、法律で定められた制限を確実に満たすように廃水処理設備を整備することが求められました。排出ガスに関する重大な違反の例では、製造工程で排出されていたガスにより、揮発性有機化合物が処理されることなく大気中に直接放出されていたケースが挙げられます。この施設には、ただちにガスの排出を中止し、排出ガスが法律で定められた制限を確実に満たすよう、適切な空気処理機器を設置することが求められました。

排水または排出ガスの違反に対する是正プロセス



①

排出を中止

サプライヤーはただちに廃水またはガスの排出を中止しなければなりません。



②

根本原因の分析

サプライヤーは根本原因の分析を行わなければなりません。



③

是正措置

サプライヤーは将来的な事故を防ぐ是正措置を講じなければなりません。



Apple Storeの什器を作る職人
米国

あらゆる規模のすべての サプライヤーと協力し、さらに 高い基準を導入しています。

Appleのサプライヤー行動規範は、大小いずれの規模のサプライヤーにおいても、パフォーマンスの向上に貢献しています。規模の大きな最終組み立て施設から、小規模な10名ほどのサプライヤーまで。私たちは毎年パートナーシップを拡大し、サプライヤーが環境に配慮した責任ある職場を提供できるように支援しています。

Appleのサービスとロジスティクス分野の サプライヤー

2012年、Appleのサプライヤー行動規範をサービス分野にも拡大するため、私たちはサービスおよびロジスティクス部門のサプライヤーとのパートナーシップを開始しました。この取り組みにより、労働時間に関する違反を防ぎ、健康と安全についての適切なトレーニングを提供し、公正な職場を維持できるようにサプライヤーを支援しています。2017年には、16か国でAppleCareセンターの30拠点、ロジスティクスセンターの10拠点を訪問し、査定を実施しました。

直営店のサプライヤー

2016年、私たちはサプライヤー行動規範の取り組みを拡大し、Appleの直営店のサプライヤーで働く従業員も対象にしました。Appleの20の直営店をサポートするサプライヤーに対して査定を行い、改善分野を特定し、サプライヤーの管理システムと従業員トレーニングを強化しました。

2017年には、このプログラムをさらに拡大し、100の直営店にサービスを提供するサプライヤーの査定を実施しました。この査定において、私たちはサプライヤーの管理システム、労働時間遵守、雇用契約、苦情報告ルートといった面を強化しました。従業員には、従業員の擁護、健康、安全に関する広範なトレーニングを実施しています。



小売分野の査定は前年比で
400%増となりました



iPadの製造ラインオペレーター
中国

私たちが向かっている場所。

私たちは自らの未来へのビジョンに向けた取り組みを毎日続けています。働く人々が力を与えられ、尊重されていると感じられる職場がある未来。そこでは、Appleのサプライチェーンは地球を守る取り組みを絶えず行い、サプライヤー各社の職場は業界で最も先を行くものになっているでしょう。

私たちの取り組みが終わることはありません。サプライヤーと手を携え、業界で最高の基準を導入することで、私たちのサプライチェーンで働く人々と地球に良い影響をもたらせるよう、Appleはこれからも力を注ぎ続けていきます。